



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 扶桑薬品工業株式会社  
 コード番号 4538 URL <http://www.fuso-pharm.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長兼経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 戸田 幹雄  
 (氏名) 高橋 貞雄

TEL 06-6969-1131

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	11,622	△4.7	146	△83.8	202	△80.0	123	△80.7
26年3月期第1四半期	12,190	—	901	—	1,011	—	641	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	1.37	—
26年3月期第1四半期	7.09	—

※当社は、平成26年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、平成26年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	69,967		34,720			49.6
26年3月期	68,644		34,892			50.8

(参考)自己資本 27年3月期第1四半期 34,720百万円 26年3月期 34,892百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,400	△0.5	800	△50.6	750	△54.3	500	△53.2	5.52
通期	48,800	△0.6	1,500	△46.4	1,400	△48.9	900	△54.5	9.94

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	94,511,690 株	26年3月期	94,511,690 株
27年3月期1Q	4,031,770 株	26年3月期	4,025,095 株
27年3月期1Q	90,482,448 株	26年3月期1Q	90,521,128 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府や日本銀行一体となった経済対策及び金融政策の継続により、企業業績や雇用・所得環境の改善がみられ、一方で個人消費は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動があったものの、全体として緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、新興国経済をはじめとする海外景気の鈍化による下振れリスクや円安による輸入原材料価格の上昇が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明感が残るなか推移いたしました。

医薬品業界におきましては、高齢者の増加や医療の高度化等に伴い増大する国民医療費に対して、薬価改定や後発医薬品の使用促進をはじめとした医療費抑制策が継続・強化されるなか、研究開発費の増加、企業間での競争の激化など、取り組むべき課題が山積し、引き続き厳しい経営環境のもとで推移いたしました。

このような環境のもと、当社は営業基盤のさらなる強化を図るため主力製品の人工腎臓用透析剤キンダリー、生理食塩液や、ろ過型人工腎臓用補液サブラッドBSGなどの販売強化や、新規取引先の開拓に取り組むなど営業活動に注力してまいりましたが、消費税増税後の反動もあり減収となりました。

その結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は116億22百万円と前年同四半期と比べ5億68百万円(4.7%)の減少、営業利益は1億46百万円と前年同四半期と比べ7億55百万円(83.8%)の減少、経常利益は2億2百万円と前年同四半期と比べ8億9百万円(80.0%)の減少、当四半期純利益は1億23百万円と前年同四半期と比べ5億17百万円(80.7%)の減少となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、699億67百万円と前事業年度末と比べ13億23百万円(1.9%)増加、負債は352億47百万円と前事業年度末と比べ14億95百万円(4.4%)の増加、純資産は347億20百万円と前事業年度末と比べ1億72百万円(0.5%)の減少となりました。

なお、自己資本比率は49.6%と前事業年度末に比べ1.2%の減少となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、現時点では平成26年3月期決算発表時(平成26年5月9日)に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。これによる四半期財務諸表への影響はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,901	9,385
受取手形及び売掛金	20,965	20,009
商品及び製品	7,206	7,273
仕掛品	102	100
原材料及び貯蔵品	1,449	1,447
その他	932	915
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	38,556	39,130
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,763	7,771
土地	9,968	9,968
その他(純額)	4,231	4,884
有形固定資産合計	21,963	22,625
無形固定資産	348	352
投資その他の資産	7,775	7,859
固定資産合計	30,088	30,837
資産合計	68,644	69,967
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,121	9,066
電子記録債務	2,832	2,838
短期借入金	6,284	6,783
未払法人税等	—	24
賞与引当金	960	506
その他の引当金	341	298
その他	4,680	6,878
流動負債合計	24,219	26,396
固定負債		
社債	316	266
長期借入金	4,837	4,157
退職給付引当金	1,405	1,412
その他の引当金	218	221
その他	2,754	2,792
固定負債合計	9,532	8,850
負債合計	33,751	35,247

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,758	10,758
資本剰余金	15,010	15,010
利益剰余金	12,696	12,458
自己株式	△1,428	△1,430
株主資本合計	37,036	36,796
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,301	2,369
土地再評価差額金	△4,446	△4,446
評価・換算差額等合計	△2,144	△2,076
純資産合計	34,892	34,720
負債純資産合計	68,644	69,967

## (2) 四半期損益計算書

## 第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	12,190	11,622
売上原価	8,328	8,376
売上総利益	3,861	3,245
返品調整引当金戻入額	2	0
差引売上総利益	3,863	3,246
販売費及び一般管理費	2,962	3,100
営業利益	901	146
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	29	46
保険関係収益	86	69
投資事業組合運用益	82	5
その他	22	38
営業外収益合計	221	163
営業外費用		
支払利息	60	52
生命保険料	32	32
その他	19	22
営業外費用合計	111	107
経常利益	1,011	202
特別損失		
固定資産除却損	41	1
特別損失合計	41	1
税引前四半期純利益	970	200
法人税、住民税及び事業税	170	10
法人税等調整額	158	66
法人税等合計	328	76
四半期純利益	641	123



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。